

バストス週報

第1526号
昭和五一年
八月九日
月曜発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shoho Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
BASTOS
E. S. P.
Annual
Cr. 85,00
前金 Adiant.

朝 騒 33

ロッキード事件を 皆さんはどう思われる

数日間入植祭でいそがしかったので、新聞を読む暇がなかった。いや、読む時間よりも新聞を取りに行く暇がなかったのだが、去る三十日の朝郵便局へ通報を送り出しに行って新聞を一週間分溜っていたのを持って帰ってきたが、こうなると全面をていねいに読む暇がないので、サッと目を通して、此処はと思う前だけを拾い読みをする訳だが、どの新聞も第一頁を聞くと一番に飛び込んで来るのがロッキード社の贈賄事件の記事だ。新聞社も毎日々々よくも飽きずにこの事件のことを書けるものだと思心もするが、新聞社は報導が商売だから、書かぬわけにもいれないだろうし、この記事を書くためには余程取材に苦労をしていることだろうと同情もする。しかし私はもう馬鹿くさくて読む気がなくなつたので、標題だけ見て、新聞社には申わけないが、内容は読まないことにした。

それでも事件発覚当時は読んでいたのだが、読んでいろうちに馬鹿臭くなつた。議会大切な政府をわづらひだして裁判所の真似をして証人を喚問して、何の得るところもなかつたり、この事件のためにさきり舞をしていっている様子が腹がたつてきた。

商人が商売の取り引きに成功して手数料を貰つたのが悪いというのか、違法なのか、違法なら警視庁に任かして置けばよいのところがどうか？。こんな問題に政治家が血の道をあげて何で騒ぎまわろのか、与党の足を引く、張る野党の悪どい策略に乗って神聖な議会で裁判所の真似をしたり、首相が何のためにこの事件を明究したりするのかわからないが、丸紅商會にしても高いの中間して手数料をもらつて当然だろう。それが多額だと云つても恐喝して取つたものでもあつてよい、口付にしても高い高に釣り合つた以上、金は出すまいと思つても、どうだろう。

丸紅玉とか悪玉とかの石炭の政治口が中絶して多額の金を受取つても、その金を政府の高官に献金しても何故わるい。それなら法律で献金を差止められて置けばよいのだし、賄賂なら追徴金を納入させれば、それで済みではないか。どこに政治上の問題となる決定的な重要性をもっているのだろうか。丸紅を通じて口付がエアバスを全日空に売り込み成功したことが、日本政府にどんな関係があるのか、口付がコンサルタントとして選んだ右翼の黒幕的男に多額のコンサルタント料を渡したら、それが政治上にどんな影響があるのか、さっぱり台本のいかなることばかりだ。

野党が台周で与党の足を引張るためにロッキード事件を利用するのは悪どいやり方で、私は大きらい

HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas 271, C. Postal 160 Fone 92



ホテール森川

電話九二番

FLORA BASTOS T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.

Rua Duque de Caxias 524, C. Postal 171, Fone 29

森元苗木本舗

電話二九番

生活の安定に備えて果樹園造成を
果樹園成功の秘訣は苗木の良種を遊ぶにあり
優良種の苗木なら農林省公認の
バストス森元苗木本舗へ

御相談下さい。親切に説明致します
蘭の新種、珍種は全館の有名園と特約して
安価に提供中。シオオを巡回致して居ります
果樹の外に庭園樹、植林用樹、花木の苗等
松杉松・もみじ・桜・ヒヨウヤ・モクシロ
の花苗一切あります

だ。アメリカの調査員を派遣したりして多額の金
を消費して居る方が、この問題ではないか。そ
んなにして金を使つて何が新、たというのだろうか
。アメリカの上院の多国籍企業調査員が、多国籍
にも思えないロッキード社株主にあたりして、ど
うもお調子に乗るすぎで滑稽だが、それだけなり
に政治的に理由があるのだから。これはアメリカ
としては、A級戦犯者に指名された男に多額の金を
渡しては政治運動を起すおどろきがあるかも知れな
いかと見られるからだ。丸紅玉に聞かしては、京都大学
名誉教授の田中美太郎氏は文春四月号で次のよう

に述べている、児玉らは権力や財力のある前をうろつきまわつて、なにがしかの情報を売りつけるだけの存在であり、多くは出所不明の金銭によつて生活する政治ゴロの一種に過ぎなかつたのである。だから、右翼に対して風当りの強い戦後の日本に於いて、彼が本気で右翼的政運動を組織し、そのために有金のすべてを注ぎ込んだりしたとは、とうてい考えられない。戦争に便乗し、軍部に密着して、いわゆる思玉幾聞の名の下に、多くの物資と金銭を動かして利益を上げた彼が、又国際的規模で同じことを行なうというのなら、容易に想像できるけれども、だから、アメリカ上院の委員会が、認識を間違つて軽率な政治的判断を下したということになる。だらう。それはアメリカの外交を實際に担当している人達を困らせる結果になつたとも云える。

それにしては、何と厄介なものだと言わなければならぬ。言葉の取り方も、国によつてちがうからだ。議会の証言で、日本人がアメリカ人との交渉について日本語で言うのを聞きながら、それは英語でどう言われたのだろうかとか考へたりした。そして、そこで理解されたことが、果して同じであつたかを疑問にも思つた。日米証言の食いちがいが問題になり、その一方が真で他方が偽でなければならぬというようないふことが言われていたが、どうもそう簡単ではないように思う。もしかすると両方とも間違つてゐるかも知れないからである。つまり真実一つであつても、うそは無数にあり得るからだ。

そして、このウソは、意識的なものと、無意識的なものと二つある。そして後者の方が数も多く、発見しにくいのである。つまり主観的には真実を述べているつもりでも、認識や記憶の間違いによつて、とんでもない「うそ」をついてゐることが少なくないのである。だから誤解の可能性が少くないのである。

だから誤解の可能性が少くない外国人の証言によつて、われわれ自身の事を判断するよりも、むしろわれわれ自身の手で事の真実を明らかにすべきである。しかしそれは今騒がれてゐるような仕方では、性急に政治問題化することではないだろう。わが国民の名譽にかかぬ問題を政争の具に供するなどといふことは許せないのである。それにしては外国議会の小委員会を取り上げられた事件が、わが国の議会で、他の国政審議をそつちのけの大問題となり、わが国全体が、外国企業の思ひどい販売戦にふりまわされ、各政党がこんでに調査団なるものを外国に派遣し、政府攻撃の材料がしに血眼になつてゐるなどといふことは、あまり名譽になる話ではないと思ふがどうだろうか。

田中美太郎先生の説も私のような無知な人間も余り変りはないようだ。現在の日本の野党は政府へ反対のための反対を訴へ、勇往者を煽動してストを起し国家機密の損失を与えていやらせをして、まだあきたらずロッキード社の事件を種にして政府の尻をすくうとは何事ぞ、四野党の中に人間らしい指導者は一人もいないのであろうか。ロッキード問題などで騒ぎまわす奴の顔がみたい。 勝 市

病院よりのお知らせ



眼科専門医

のたぐい左記の先生をお迎え
眼科を開設致しました。診療日
は第一、第三金曜日午後一時

海野勲先生

眼の治療の外眼鏡の度も調べ又
眼の手術もいたします。

バストス病院

各位

花の御礼

貝田 凡 鬼

演劇部より出演いたしましたところ、
左記の方々より澤山の御花を頂きま
しました。有難うございます

- 板垣 達志 様 信太千恵子 様
- 大倉 重一 様 小林美枝子 様
- 菅野 三郎 様 小林正志 様
- 本田たね子 様 以上

花の御礼

吉田 勇 次

去る入植祭の演芸会に出演致しました奥、左記の方
から過分の御花頂致しました。失礼ながら紙上筆上
厚く御礼申し上げます

- 西川 静治 様 伊勢島寿一 様
- 矢野英二 様 阿部幸子 様
- アルト伊勢島 様 中村幸治 様
- 清川清子 様

文明が作り出す病氣

私は今年の入植祭の間中腰が痛くて難儀した。もとより神経痛の持病があり、少し風邪気味だとすぐ一番に腰が痛くなる。尤もお祭り前にいけ花展示会の材料の太い樹を門庭から採取するため太い木を伐り倒したが、私の家では私のようによよばの爺ひとりで男手が無いので、ひとりで伐り、かうんた枝のために倒れない木を引、張っても動かない重い杖を無理矢理に引きずり出してはたう、ぎくりとして持病の神経痛がブラボラしたらしい。

展示場でいけ花のトマコンタしても腰が痛いし、第一私の家から学校の会場まで遠い。おまけに登り坂だから、半分の距離も上って行くと、痛みがひどくなつて歩けなくなるので、仕方なく、カルスーグへ腰掛けて休む。誰か知つた人の車が通らないかと車を付けて見ても、誰も顔見知りの人のは通らず、やむを得ず立ち上って歩くが、学校の遠いこと、こうして花のいけ込みから四日間七、八回会場まで往復した。

会場で終日痛む腰を我授して座っていると自然と泣きっ面となり、体をひんまげて椅子に腰掛けることになる。知人の三人が、「どうした、妙な恰好しているじゃないか」と詠かれるので、「腰が痛いんだ」と一々説明する。誰もが、「そんならワルマシアへ行つて神経痛によく効く注射があるから一本打つてもらえ」とか、「丸薬で、痛むとさ一粒づつ飲めば良く効く薬があるから」と薬名を教えくれる親切な友人もあるが、私はとうとう頑固に注射も服薬もしなかった。

折角親切に薬名まで教えてくれた友人には甚申訳ないが、よく考えてみると、老人の腰の痛みや足が弱るのも耳が遠くなるのも眼がうすくなるのも病氣じゃ無い。これは立派な老化現象で、神より与えられた授理だ。中には私のような老人で腰も痛まず、足も達者だし、耳も聞こえ、眼鏡なしで新聞も読めるという人もあるが、こんな人は神様がうっかりしてその人に年を寄せるのを忘れていたのであろう。

痛みは神の授理であり警告でもある。もし人間に痛みがなかつたら、火傷しても気がつかないことになる。薬で痛みを止めても老化は防げないから、副作用のある科学薬品は医者や指図に従わねば副作用で又別の老化現象以外の病氣を作ることになる。老人のあちこち痛むのは丁度自動車の新しい時には調子がよかつたのに古くなると、あちこちと故障が起るのと同じだが、自動車の場合はいたんだベツクを取り替えて調子を取り戻すことが出来るが、人間のベツクは取替えが出来ないから、よく養生、つまり自動車でも云えば手入をすることが大切だろう。老人の痛みはたいして動脈硬化が原因して血液の循環がスムーズに行かなくなるために痛むので、これは風呂で温めるに限る。風呂を朝からわかし、痛みのひどい時は何回でも入浴することがよいようだ。そして朝早く起きて、散歩することが大切だ。私のように朝から晩まで、夜は深夜まで腰掛けて居る

花の御礼

友 谷 和 子

去る七月入植祭演芸会の際花の出演に左記の方々から御しいきのお花を澤山頂戴いたしました。有がとうございませ。甚だ失礼とは存じますが紙上を以て厚く御礼申上げます。

- | | | | |
|----------|---|---------|---|
| 日語学校生徒一同 | 様 | トミナ宮城 | 様 |
| ホテル宇佐美 | 様 | 梶山米子 | 様 |
| 小茂田 | 様 | 清家るみ | 様 |
| 前山義雄 | 様 | 早川三子 | 様 |
| 吉田勇二 | 様 | 原野小冬 | 様 |
| 内馬場 | 様 | 加藤みよ子 | 様 |
| 豊島絢子 | 様 | 小林トシ子 | 様 |
| 吉浦すみえ | 様 | 鶴ルミ | 様 |
| 郷原みよ子 | 様 | 桑原若子 | 様 |
| 小林ドラヤナ | 様 | 吉田ふさえ | 様 |
| 光石教貢 | 様 | 小林小久 | 様 |
| 光石美佐子 | 様 | 河本千工子 | 様 |
| 山本栄子 | 様 | 板垣登美子 | 様 |
| 風間定乃 | 様 | 島崎ミキ子 | 様 |
| 宇佐美みな子 | 様 | 佐藤寛 | 様 |
| 磯谷 | 様 | 新宅夕二子 | 様 |
| 竹原きよみ | 様 | 長沢のほる | 様 |
| 竹原ひろみ | 様 | 田川シズ | 様 |
| 竹原なをみ | 様 | 大塚孝雄 | 様 |
| 宮武勝南 | 様 | 守越松江 | 様 |
| 豊島すえ | 様 | 若野 | 様 |
| 水本幸子 | 様 | 上村ひでみ | 様 |
| 谷口幸子 | 様 | 川辺イサノ | 様 |
| 石橋敏子 | 様 | 柳浦サワ | 様 |
| 小澤養鶏場 | 様 | 池田佐次郎 | 様 |
| 梶田商店 | 様 | 榑原信子 | 様 |
| 柴田とらの | 様 | 上西君子 | 様 |
| 戸田ツ子 | 様 | 吉田企四子 | 様 |
| 早川君枝 | 様 | 日蓮正宗婦人部 | 様 |
| 山口不耳止 | 様 | 溪砂 | 様 |
| 杉山寅蔵 | 様 | | 様 |

と、関節が錆びついて動かなくなるのは鉄製の機械類と同じで、しよっちう動かすと錆びつかないが、老人の関節は機械とちがって、油を差して無理にでも動かしてみられない。やっぱり錆びつかないようには動かすこと、毎日痛む時は温浴することだ。そして薬は用いないことだ。

それから老人の眠り過ぎは禁物だ。昼寝三十分したら夜は四時半から五時間が適当だろう。そうすると十時時に寝ると、三時頃に目醒まなければならぬが、おそくても四時過ぎには起床することが重要だ。朝のおそい人に健康な老人はない。

それから酒や煙草も好きでうまければ何とやめろ必要はないと思うが、どんなものであろうか。酒を飲まないから健康だとか、煙草を喫まないから無病で長生したり出来ものでもあるまいが、薬の飲み過ぎか肝臓、腎臓、心臓のわるくなつた人は随分多い。

農薬が毎年強力になつて行くのは、害虫の方に農薬に抵抗が強くなつて、昔の農薬では死ななくなつたからだ。病菌も多少抵抗がつよくなつてくるので、それにつれて医薬も強くなり、使用をまちがうと命とりになることが多い。

老人は適当に痛いところがあつて、少々老害して、耳も遠くなり、目もかすむのは幸せの内だと思つて、呆けて「今日は何日だ」と、一日に三四回悔い聞かすようになり、物を置きわすれて、一日中採りものをしたり、近所の人に「あなたは、どなたさまでしたかね」などと訊いたり、水道の水を出し、放しにしたり使先行つて跡流すのを忘るようになる、呆けも本物だ。

まあ、ここまで順調に呆けてくると、痛みも余り感なくなるし、人が何言つてゐるのか解らなくなるなり大平樂で憔悴三昧で、人生最上の幸福と云わねばならぬまいが、この少し前に家族を困らせる期間が必ず暫らくつづく。一日中うつらうつらとしていて不眠を訴ふる。他人が見ると、よくあれだけ眠むれるものだと思つたのに、本人は、昨夜は一睡も出来なかつたと思つてゐる。又食事も普通一人前を食べていても、食欲がなく、食べて居ないと訴ふる。そして色々な薬を飲むようになる。そして苦楚を訴ふるので入院して医者のお世話になり、間もなく、薬の副作用で余病を引き起して死にす。この期間中は本人はもとより、家族の者にも老害してゐるように見えるので、本人が希望する薬を手える。例は、眠れないから睡眠薬を、痛みかひどいと云うので鎮痛剤を飲ますようになり、死を早めることになる。

とにかく痛みのやわらく薬は毒であり、睡眠薬は魔薬であり、ホルモン剤は生理を狂わし、マニリンナ、テラフィン等必要万体内の菌まで殺すもので、医師以外の者が使用禁物だ。睡眠薬は麻薬で数回連用すると中毒症状を起して飲まないと思つたに腫れなくなり、量を減さないと効かなくなり、一月飲みつづつると完全中毒で、薬が体内からされると、精神が錯乱する。つまりキチガイになるし、老人でなくても妊婦が服用して不具の子が産れた例が多い。出来るだけ薬を飲まないで恍惚の人にまで順調に進もうではないか、少々の痛みを薬局へ注射に通うのは、自殺行爲だ。

花の御礼

光石 たけの

過日入植祭演芸会の御礼左記の方々より過分の御花頂きましてありがとうございます。紙上を以て御礼申し上げます。

- 栗山 宇佐美 様 櫻井 よね 様
- 前山 義雄 様 柳浦 サワ 様
- 小茂田 呉服店 様 佐藤 寛 様
- 郷原 みよ子 様 長沢 のぼる 様
- 友谷 千春 様 山本 栄子 様
- 水本 幸子 様 石橋 敏子 様
- 坂垣 悦子 様 上田 鉄男 様
- 磯谷 ツギノ 様 豊島 すえ 様
- 峠野 光子 様 河本 子工子 様
- 風間 定乃 様 清家 るみ 様
- 宮武 勝南 様 加藤 ミよ子 様
- 小澤 養鶏場 様
- 戸田 ツイ子 様
- 梶田 商店 様

花の御礼

バスト入日語普及会

バスト入音頭に初出後際際しての御花を戴きましてあり難うございました。厚く御礼申し上げます。

- 谷内 恭子 様
- 小澤 養鶏場 様 山口 良夫 様
- 小茂田 商店 様 中浦 三司 様
- 後藤 謙 様 荻田 まち子 様
- 栗山 宇佐美 様 山本 栄子 様
- 宇佐美 みな子 様 清家 るみ 様
- 坂垣 康局 様 豊島 喜一 様
- 奥田 利 様 井 節 様
- 俵 砂子 様 松本 とみ子 様
- フォット 宮崎 様 水馬 又五郎 様
- フォット 島本 様 宇都宮 文 様

死亡通知並に会葬礼

母、管野トメヨ（八十四歳）儀老衰のため去る七月三十日午後五時頃天寿を全うし眠るが如く大往生を遂げました。依って翌三十一日午後四時自宅出棺バストス墓地へ埋葬いたしました。此の儀生前御交誼を頂きました皆様へ謹んで御知らせ申し上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中の処遠路能々御会葬下され、且又過分なる御香料並びに花輪等御恵供賜わり有難うございました。

実は一々御廻礼申し上げる可き処取込中に之失礼乍ら紙上を以て取敢えず御礼御挨拶申上げます。

一九七六年八月三日

喪主三男 管野三郎衛門

妻 ヲよし子

長男 管野次郎衛門

長女 武田きのえ

夫 ヲ梯二

次女 在イノコ 山みね

夫 ヲ音吉

三女 ミナスセノイス州 泉きよ

夫 ヲ百々吉

四女 ハナナ州マリンガ 内山たよ

夫 ヲ年雄

親戚代表 平井有利

友人代表 小澤将男

シマールカラ 区様
 シマールカラ 婦人会様
 バストス生長の家様
 バストス仏教婦人会様
 バストス南米本願寺様
 会葬者 御一同様

シネバスト又九月上映々画紹介

東映超大作 新幹線大爆破

私ども映画好きにとつては七月中期待する映画が来なかつたので淋しかったが、九月上映画は見逃すことの出来ない傑作揃いとなつた。上映順に紹介する。ことにしよう。先九月五日、六日上映の東映作品の解説から始めよう。

○日本が世界に誇る超特急、新幹線ひかり号に爆弾が仕かけられた。全国民が恐怖に脅え見守る中を千五百人を乗せたひかり号はばく進する。緻密な計算のもと、着々と計画を実行する犯人と、捜査当局との対決、極限状態におかれたさまさまな人間模様。製作費五億円を上回る超大バニックス映画として、三時間にあつて観客をスクリーンに釘づけにするスビード感。スリル感に満ちた映画だ。

東映全世界の大作映画に挑んだ自信の大作だ。キヤストの方も高倉健・千葉真一・山本ま・田中邦衛さらに丹波哲郎・宇津井健など超大型陣を揃えて緊迫感を盛り上げた演技を見せている。

九月十七日(金) 十八日(土) 上映の東宝作品

虎の尾を踏む男たち

この映画は昭和二十九年九月完成だから今から三十一一年前に作られたが、占領軍により公開延期となり、昭和二十七年(一九五二年)公開、ブラッセルでは初公開の幻の名作として待望の名作だ。

戦争も末期に近づいた頃、資材も不足がちの中で作られた。しかし黒沢明は、どんな制約の中でも、思うままに映画を作る自信があつたと見られるが、この作品も、まさしく快進進テンポで進行している。古典劇の名作中の名作(勧進帳)にもとづくもので、すでに完璧に荘重な演出様式のでき上つてい

るこのドラマも、もとの荘重さを損はず、その中へドタバタ喜劇の要素をつぎ込むため、エノケンをコメディ調の強刀に仕立て、義経一行が無事に安宅の關所を越えるドラマの中心に近づける。

藤田進・大河内伝次郎の破竹の演技と悪徳的に対応させたエノケンのおかしさが、この作品を十分に堪能させるまでボリュームにしている。若き日の黒沢明が情熱と誇りをもって作りあげた国宝の名作。

○ものがたり◇◇◇兄弟軍頼朝に追われて、義経とと弁慶を兼頭とする家来六人は、山伏姿に身をまわつして、北陸路を奥州へ逃がれゆく。

御礼

金一千クルセーロス也
右は当館の事業達成のため特に奨励の意味を以つて御寄贈下さいました。御芳志誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又開拓館

御礼

金一封也
右は入植記念に御寄附下さいました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又明老会

御礼

金一封也
右は入植記念に御寄附下さいました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又明老会

御礼

金一封也
入植記念に御寄附下さいました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又明老会

御礼

金一封也
入植記念に御寄附下さいました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又明老会

御礼

金一封也
右は入植記念に御寄附下さいました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バスト又明老会

御礼

渡辺チト工様

せて危機を脱する。

富樫は、蘭所を通過した一行に酒をとどけてやる。弁慶は義経を殴ったわびを云い、義経はそれを許す。そして一同は快く酒に酔う。

この映画には、今世紀に亡き大河内伝次郎、榎本健一、森雅之をはじめ、藤田進、志村喬、橋尾泥海男、岩井半四郎、清川莊司等が青年俳優として若々しく演技に打ち込んでいろいろのなつかしい。

「砂の器」の松竹が、映画化熱望の長篇傑作に挑む

球形の荒野

原作 松本清張

へかいせつ

今年バストスで封切り公開した(砂の器)の興奮はまだ醒めやらぬうちに早くも松本清張原作の第二弾登場である。この作品は、いかに清張らしい偉太の雄大なスケールと綿密に練り上げられた推理がいぶし銀のように健筆で、読者をグイグイ引張り込んでいく、もの凄い迫力に圧倒される長篇傑作である。文字通りバストセラ、ロングセラード、清張文学愛好者必読の代表作と云える。

戦争末期、日本を破滅の淵から救うため、自ら日本人であることを放棄したひとりの男、そんな数奇な運命を持った人間の痛切な悲しみを主題に描かれている。そんな彼にも、妻があり、娘があり、そして何よりも愛する日本の美しい山河があった。しかし、もかかわらず、彼の帰郷は極秘に、それと知れず、時には生命の危険を冒してすら運ばれてゆく。全体はミステリー仕立て、謎の事件が次から次へと連続し、次第にベールがはがされて、ラストのクライマックスに向って盛り上がり行くのであるが、清張ものには殆んど珍らしいと云うべき「父と娘の愛情がテーマとされている。

監督は超大作(流れの譜)など、その演出力を高く評価されている新鋭、貞永方久が当り、主演には、映画、テレビ、演芸界で大活躍の竹脇無我、島田陽子、芦田伸介をはじめ、ベテラン新鋭を随所に配して豪華陣となっている。

(ものかたり) 昭和三十六年、初夏、関西で取材を終えた添田は、奈良を、恋人の久美子と合流した。独り大和路を旅していた久美子と共に帰京するためであった。一流紙の政治記者である添田は野上久美子と婚約中であり、すでに式の日取りもこの秋と決っていた。久美子は母一人子一人の生活で、出版社に勤めていた。

大和路は、久美子の亡き父野上頼一郎のこよひく愛した地であり、彼女は父に自分の第二の人生の出発を告げて来たいたのである。所が、そこで、二人は不思議なことに喧嘩をした。亡父ぞくりの筆跡を、唐招提寺と安居院の拝観者芳名帳の中に見たのである。「田上孝一」と署名された字体は、米帝の書に習った頼一郎独自のものであった。しかもそれは記されて間もないものであった。父は大戦末期ヨーロッパの其中立国公使館で一等書記官を務めていたが、終戦一年前、任地で病を得て客死してした。

以下次号へ

花の御礼

プログレッシブ

吉田 登

入植祭演芸会の出演致しました。左の通り沢山の御花を頂きました。厚く御礼申し上げます。

- 豊田正次 様 豊田光男 様
- 具崎保雄 様 生方正義 様
- 水口 修 様 小林小久 様
- 佐藤重助 様 森下正枝 様
- 豊田春江 様 桑原芳子 様
- 藤川田鶴子 様 上田 寿 様
- 寺田セツ子 様 吉田トシ子 様

花の御礼

島本 進

- 入植祭演芸会の出演致しまして御花を拝受致しました。
- 戸田 ツイ子 様
- 渡 砂子 様

花の御礼

藤川 一 若

- 入植四十八周年祭演芸会に左の方よりの御花を頂きました。ありがとうございました。御礼申し上げます。
- 桑原 芳子 様 具崎保雄 様
- 池田 佐二郎 様 早川君枝 様
- 生井澤サミエ 様 原野小冬 様
- 織田 シズ 様 林 久 様
- 小林 小久 様 佐藤重助 様
- 森下 政枝 様 吉田フサエ 様
- プ・プレテテ 草原 秀雄 様

花の御礼

松浦 桂 三

- 祝 田 様 萬谷 様
- 森 田 様 深井 様
- 菊 田 様 鶴玉ヨタカ 様
- 戸田 田 様 ルミ 様
- 小池 様 小池 也 様
- 拒本 様 ッタツ也 様

誠にありがとうございます。

バストス入植四十八周年記念将棋大会

市役所後援で入植祭記念将棋大会をPL
会館で二十五日開催、パウリス夕陽線、
ノロエステ、マトグロソ、聖市と各方面
とも大勢の棋士が集り盛大に催しました。
成績は次の通り。

A組	
一等 藤本	バストス
二等 大原	ツバノン
三等 三浦	ジュンケーロ
四等 杉山	ツバノン
五等 三浦	バストス

B組	
一等 森本	バストス
二等 亀井	オズワルド
三等 畑中	バストス
四等 松本	アラサーバス
五等 上野	ツバノン

バストス将棋倶楽部

花の御礼

PL教団バストス婦人会

入植祭演芸会に出演して左の方々からたくさん
の御花を頂戴致しまして有難うございました。

ア上笠井	様	星島進	様
山口樂局	様	上原一臣	様
小澤養鶏場	様	斎藤愛子	様
池田健	様	島本すま子	様
板垣菜局	様	堂前幸太郎	様
小茂田商店	様	森元美喜代	様
奥田耕	様	堂前武雄	様
ホテル宇佐美	様	谷口ツネ子	様
新谷文治	様	三角等	様
谷口すみ子	様	茂庭妙子	様
今岡とくよ	様	照井英夫	様
橋岡いづみ	様	水口修	様
杯ラウリン	様	加藤みよ子	様
坂口義一	様	フォット島本	様
田川イツ子	様	本多慶子	様
田川フミ子	様	本多春子	様
田川シズ	様		

花の御礼

高橋節子

去る七月入植祭の演芸会に出演致しました処左の方々
から沢山の御花頂戴しまして有難うございます。
紙上より厚く御礼申し上げます。

仏教婦人会	様	吉田ふさえ	様
シヤーカー婦人会	様	森下政枝	様
生長の家白鳩会	様	森下さみ江	様
PL婦人会	様	寺田セツ	様
柘原信子	様	ごひいき	様
無名氏	様	吉田とし子	様
若野	様	西田初子	様
小橋博文	様	本多ける子	様
木口ふみ	様	林久江	様
上村時枝	様	池田佐次郎	様
藤川田鶴子	様	上村静子	様
岩下すみ子	様	亀田もも子	様
小林小久	様	川辺イサノ	様
柔原芳子	様	梶田商店	様
高薄雄極	様	宮田英之江	様
今福明美	様	おみやげ	様
内馬場	様	アミーゴ一同	様
長尾マリア	様	紫藤キクス	様
米川セシリア	様	山口	様
石橋敏子	様	小橋寧江	様

花の御礼

吉田敏子

入植祭演芸会に出演致しました処左の方々から沢
山の御花を頂戴しまして有難うございます。

板垣好香	様	石橋敏子	様
梶田商店	様	信太節子	様
清マノン子	様	シヤーカー婦人会	様
古谷簡一	様	信太千恵子	様
天野とみ江	様	寺田セツ	様
池田佐次郎	様	吉川和子	様
有馬伍保	様	無名氏	様
柔原芳子	様	森正政枝	様
柘原信子	様		

店員求めます

至急店員を求めます

青年・少年を問いません

御希望の方は御来店下さい

ファルマシヤウニオン

板垣薬局

御禮

故 長 橋 きよの 様

敬弔 御生前のご功労を偲び、供養志拝受しました

長 橋 智 様

故 清 家 虎 三 様

敬弔 ご生前のご功労を偲び、供養志拝受致しました

バン市 清家 様

故 宇都宮 コフジ 様

敬弔 御生前のご功労を偲び、供養志拝受しました

宇都宮 利郎 様

バストス南米本願寺
バストス又仏教婦人会

花の御礼

竹原 きよみ

ひろみ

なをみ

先日の入植祭の演芸会に出演いたしました処
左記の方々から沢山の御花を頂きました。厚
く御礼申し上げます。

真木 諭吉 様 平野 昭仁 様

堀江 新八 様 上村 時枝 様

真木 諭 様 真本 輝男 様

高橋 保政 様 郷原 みよ子 様

高橋 京子 様 吉浦 又三 工 様

梶田 商店 様 伊藤 みえ子 様

篠崎 とよ子 様 西川 しずえ 様

風間 定乃 様 井上 てるみ 様

花の御礼

バストス演劇研究会並に役者一同
先日の入植祭に初めて出演致しました処左記の方
々より過分の御花を頂戴致しました。紙上を借り
て厚く御礼申し上げます。

豊島 喜一 様 小澤 養鶏場 様

奥田 耕 様 上原 一 臣 様

無名氏 様 早川 栄松 様

風間 定乃 様 小林 博文 様

高橋 保政 様 宮武 勝南 様

水口 修 様 高橋 製菓所 様

宇佐美 徳子 様 フォト 島本 様

宮本 幸次郎 様 梶山 双樹 様

小茂田 呉服店 様 前山 義雄 様

井上 源二郎 様 吉田 様

生長の家おしらせ

八月の行事日程と時間を左記の様に
改めます。

十日(火) 一夜見真会、リポリス 午後七時半

八日(日) 誌友会例会 正午十二時

十五日(日) 合同役員会 午後七時半

二十日(日) 講演会 長澤信二先生

夕 午後八時

夕 伝導者勉強会及び協議会

夕 トップパン 午前九時

二十日(月) 夜の誌友会 午後七時半

生長の家誌友会

花の御礼

吉川 和子

先日の入植祭演芸会に出演致しました
処、左の方々から御花を頂きました。
紙上を借りて御礼申し上げます。

宇佐美 みな子 様 鶴 勝 様

吉田 とし子 様 宇都宮 文 様

有長 佐保 様 郷原 幸夫 様

バストス・ゴルフ月例会第五十九回

一九七六年七月十一日

氏名	フル	イン	グ	ハ	ホ
1 大野英雄	47	45	92	22	70
2 吉浦美代子	52	49	101	28	73
3 東美代子	41	42	83	10	73
4 鶴ルシア	46	49	95	22	73
5 吉川雄男	43	44	87	13	74
6 水馬昭二	48	49	97	23	74
7 園一郎	49	46	95	20	75
8 東幸雄	40	45	85	10	75
9 鶴英夫	41	48	89	14	75
10 島本身	47	43	90	14	76
11 吉浦徹郎	42	49	91	15	76
12 鶴順子	53	51	104	28	76
13 吉川和子	53	51	104	28	76
14 能見幸雄	51	46	97	20	77
15 宮久保英治	48	47	95	17	78

クロス 83 東美代子

花の御礼

フルーツラ婦人会

入植祭演芸会に出演しました列左の方々からいただきました御花を頂戴致しまして有難うございます。

大塚孝雄	様
豊島喜一	様
新谷久治	様
照井英夫	様
池田健	様
堀田商店	様
望前武雄	様
山田スミ	様
池田シズ	様
板垣薬局	様
真木アヤ子	様
新出晴男	様
竹内義輝	様
小沢養鶏場	様
白須政子	様
木血愛子	様
小茂田商店	様
工藤春江	様
ク夏江	様
池田光蔵	様
藤井光男	様
谷口入子	様
竹内時夫	様
小林いせ	様
内馬場	様
山口栗局	様
山家るみ	様
清家るみ	様
宮崎	様
谷口常子	様
豊島すえ	様
フット島本	様
青藤愛子	様
鍋谷秀雄	様
ホテル宇佐美	様

花の御礼

牛尼ミニキ

入植祭演芸会に日語校より初めて出演して左記の方々より御花を頂戴致しました。有難うございます。

宇佐美みな子	様
赤元瑠美	様
宇都宮ユリア	様
宇都宮ユリ	様
小野信子	様
郷原みよ子	様
宇都宮ユリア	様
宇都宮ユリア	様
木村武雄	様
谷内ソニア	様
後砂子	様
阿部幸子	様
牛尼エリカ	様
牛尼エリカ	様
西村エリカ	様
中林エリーベ	様

花の御礼

生長の家白鳩会

入植祭演芸会に出演致しました私達に左記の方から多大の御花を頂戴致しまして有難うございます。

前山義雄	様
板垣栗局	様
水本幸子	様
若野	様
宮崎	様
フット島本	様
山口栗局	様
ホテル宇佐美	様
天野とみ江	様
郷原章夫	様
小茂田商店	様
小茂田春江	様
小澤養鶏場	様
岡本百十代	様
中浦栄子	様
水口修	様
鶴勝	様
小橋幸江	様
小橋茂平	様
竹原よし子	様
信太千恵子	様
内馬場	様
郷原みよ子	様
清水清子	様
豊島愛子	様
工藤はるえ	様
梶田商店	様
竹内ソニア	様
清家瑠美	様
戸川シズ	様
山口義男	様
柳浦さわ	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
清家瑠美	様
島崎シヨル	様
島崎みきえ	様
島崎好子	様
工藤はる江	様
郷原みよ子	様
清水清子	様
豊島愛子	様
工藤はるえ	様
梶田商店	様
竹内ソニア	様
清家瑠美	様
戸川シズ	様
山口義男	様
柳浦さわ	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
清家瑠美	様
島崎シヨル	様
島崎みきえ	様
島崎好子	様
工藤はる江	様

花の御礼

豊島工リーナ

望前朝子	様
島崎みきえ	様
細江のおおきん	様
豊島工リーナ	様
島崎シヨル	様
牛尼カオリ	様
上田鉄男	様
梶原マルセロ	様
大塚孝雄	様
山本栄子	様
阿部幸子	様
清川きよ子	様
島崎みきえ	様
島崎好子	様
工藤はる江	様
水口清子	様
清水清子	様
豊島愛子	様
工藤はるえ	様
梶田商店	様
竹内ソニア	様
清家瑠美	様
戸川シズ	様
山口義男	様
柳浦さわ	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
豊島のおおきん	様
清家瑠美	様
島崎シヨル	様
島崎みきえ	様
島崎好子	様
工藤はる江	様

死亡通知並に会葬御礼

母、田村千代（八十三歳）儀、脳充血にて例れ直ちにバス
トス病院へ入院、あらゆる手当の効なく去る八月二日午後
九時長逝いたしました。依つて翌午後四時半自宅出棺バス
トス墓地へ埋葬致しました。

此儀生前辱知の皆様へ謹告申上げます。

尚葬送に際しましては遠路態々御会葬下され、且又御鄭重
なる御香料並に花輪等御供え下され、御芳情誠に有難く厚
く御礼申上げます。実は一々御廻礼申上げねばなりません
が、取込中甚だ勝手乍ら紙上を以つ御礼の御挨拶に代えさ
せて頂きます。

一九七六年八月四日

喪主	次男	田	村	義	人
	妻	〃		恵	子
	三男	〃		光	行
	妻	〃		初	江
	次女	吉	田	慶	子
	姪女	大	谷	民	子
	夫	〃		公	人
		親	戚	一	同
		友	人	一	同

ブラ拓製糸株式会社様
 バストス中央第六区様
 バストス中央親睦会様
 会葬者御一同様

Depósito de Madeiras PARANÁ.
Rua Tapajós, 140/158 - Fone. 2229 - TUPÃ - São Paulo
Kaname Tamaki e Cia Ltda.

Madeiras bruta e parelhadas, portas, vitrós, lajotões colonial, formicas, telhas brasilite francesa, tintas, cimentos cal. pedros, areias, fechaduras, aglomerados, pregos, dobradiças, compensados, duratex, forro, tacos, venezianas de madeiras e metalicas 建築用木材、扉、ガラス、床板、フルミカ、瓦、フランセーザ、ブラジル、チンタ、セメント、石灰、石材、砂利、砂、鋸屑、接合剤、釘、蝶番、天井板、床用タコ、ヨロイ産木製、金屋製、等 建築用材一切 燦瓦人造



建築用材料専門
田 卷 商 会

ツパン市

ルア、タバジョス 140 - 電話二二二九番

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua. Ad. de Barros 213 Fone 154 Bastos S.P.

柴田時計店

世界一の有名時計が揃っており、カラーテレビ、ステレオグラブドル、小型電気計機各種、軽便電気マッサージ機、ラジオ大小各種、8ミリシネ、幼燈器、ガスライター、電気ひげそり機、ユビワ、宝石類、メガネ、技身具、裝飾品、銀器色々、高級陶磁器、拡声機、蓄音機、カメラ色々、おみやげ用品、記念品、贈答用品等常に新しい物、珍しい物を仕入れて御来店をお待ちしております。
ルア・アテマル・デ・パロス二一三番地
レロージョ・アリアタカミ

電話一五四番

Anúncio de Cine Pastos

八月八日(日) 九時半 九月(月) 八時
東宝 恋の夏 小川知子
松天 恋の夏 小川知子
然色 恋の夏 小川知子
八月十三日(金) 八時 十四日(土) 九時半
東宝 恍惚の人 森繁久弥
超名 恍惚の人 森繁久弥
作品 恍惚の人 森繁久弥
八月十五日(日) 九時半 十六日(月) 八時
東宝 青い山脈 三浦友和
然色 青い山脈 片平なぎさ
然天 青い山脈 田中健
日本に青春をもちたらしめた石坂文雄の不朽の名作を魅力の豪華キャスト完全に変化ノ、
八月二十日(金) 八時 二十一日(土) 九時半
東宝 燃えろ青春 夏木陽介
然色 燃えろ青春 夏木陽介
ごめんね先生、女学生は編遊学ノ、ルタに引き起す、たづら時間攻撃ノ、
八月二十二日(日) 九時半 二十三日(月) 八時
東宝 燃えろ青春 夏木陽介
然天 燃えろ青春 夏木陽介
監督 松森 健
黒澤年男 酒井和歌子 藤本悠
竜崎 太 星由里子
夏木陽介 京塚昌子 東野英治郎
監督 西村 潔
戸部多子
睦五 郎
外家キマスト
白の草原、夜のハイソナイ、愛に溺れた二台の車、がもつれ合フ赤知を求めて疾走する男と女の探歌ノ、
九月五日・六日 新幹線大爆破 東映超特作 お見落レのない様
九月十七日・十八日 虎の尾を踏む田力達 黒沢明第二回作品、ブラジル初公開
終戦の昭和二十年九月完成

おしらせ

来る八月二十一日(土)午後七時より総合会館に於て

バストス 演劇研究会総出演

演劇

恩愛双葉峠

全五幕

その他余興沢山あり

明老会員(老人)の席は前の方に取っており、その後は、
一般の方が入場出来ます

主催 バストス明老会
後援 バストス演劇研究会